

お知らせ



その他のお知らせ トピックス

人権「楽」習会 講演「コロナ禍と同調圧力」

コロナ禍の閉塞感がどこから生まれるのか、そのような社会の中で少しでも楽に生きるにはどうしたらよいのか…。さまざまなメディアで活躍する、評論家の佐藤直樹さんを講師に迎え、講演会を開催します。

時 6月19日(土) 料 無料

所 甲田文化センターミュージズ

講 13時30分～15時

「コロナ禍と同調圧力」

～日本社会はなぜ息苦しいのか～

講師

評論家・九州工業大学名誉教授
佐藤 直樹さん



映画上映 15時10分～15時40分

「高瀬舟」

森鷗外の短編小説を映画化。安楽

時日時 問お問い合わせ先 所場所 予予約 備備考 料料金 申申込

死や貧困など、現代にも通じる社会問題を描いた時代劇です。

問 甲田人権福祉センター

☎お太助フォン45-4922

☎45-4922

安芸高田市成人式を開催します

今年度は対象者を分け、2日間開催します。

8月14日(土)

対象 平成12年4月2日～

平成13年4月1日生まれの方

所 クリスタルアージョ

8月15日(日)

対象 平成13年4月2日～

平成14年4月1日生まれの方

所 クリスタルアージョ

※現在本市に住民票がある方、または本市の小中学校を卒業した方が対象です。

問 生涯学習課 社会教育係

☎お太助フォン42-0054

☎42-4396

応募してみませんか? 募集

税務職員募集

受験資格

4月1日時点で、高等学校または中等教育学校の卒業日の翌日から3年を経過していない方(平成30年4月1日以降に卒業した方)

令和4年3月までに高等学校または中等教育学校を卒業見込みの方

申込期間

インターネット

6月21日(月)9時から30日(水)の受信完了分まで

http://www.jinji-shiken.

go.jp/juken.html

郵送または直接提出

6月21日(月)・22日(火)※消印有効

第1次試験

9月5日(日)

※詳細は国税庁ホームページを確認してください。

https://www.nta.go.jp/

問 吉田税務署 ☎42-0008

今月の相談

全国B型肝炎訴訟広島弁護士団 休日電話相談会

B型肝炎給付金に関する休日電話相談会を実施します。B型肝炎給付金の相談なら内容は問いません。

時 6月26日(土)・27日(日)

10時～16時

☎0120-10-6589

料 無料

問 全国B型肝炎訴訟広島弁護士団

(担当:石井)

☎082-228-3637

☎082-228-3648

自衛官募集～平和を仕事にする～

広島地本

検索

募集項目	応募資格	受付期間	試験日
防衛大学校生 一般	高卒(見込含)18歳以上21歳未満の者 ※詳細はお問い合わせください	7月1日～10月27日	1次:11月6日、7日 2次:12月7日～11日
防衛医科大学校 医学科学生	高卒(見込含)18歳以上21歳未満の者 ※詳細はお問い合わせください	7月1日～10月13日	1次:10月23日 2次:12月15日～17日
防衛医科大学校 看護学科学生	高卒(見込含)18歳以上21歳未満の者 ※詳細はお問い合わせください	7月1日～10月6日	1次:10月16日 2次:11月27日、28日
一般曹候補生	18歳以上33歳未満の者	7月1日～9月6日	1次:9月16日～19日 2次:10月9日～24日
航空学生	空:高卒(見込含)21歳未満の者 海:高卒(見込含)23歳未満の者	7月1日～9月9日	1次:9月20日 2次:10月16日～21日 3次:(空)11月13日～12月16日 (海)11月19日～12月15日
自衛官候補生(男・女)	18歳以上33歳未満の者	年間を通じて 行っております	受付時にお知らせします

※詳しい内容はホームページをご覧になるか、自衛隊可部募集案内所にお問い合わせください。 問 自衛隊可部募集案内所 ☎082-815-3980
※本庁・各支所にパンフレットを置いてありますのでご利用ください。



多治比猿掛城遠望(西側から撮影)



毛利弘元墓所(中央が弘元の墓石、左側が正室の墓石)

弘元の家督移譲と多治比移転
明応9(1500)年、毛利弘元は長男、幸千代丸(後の興元)に家督を譲り、吉田の郡山城から西の多治比に居を移しました。その際、弘元は正室(元就の母)と当時4歳の次男、松寿丸(後の元就)を伴い猿掛城に入ります。
しかし翌年に正室、5年後には弘元が亡くなり、幼い松寿丸は弘元の側室「大方殿」に育てられることとなります。その後、元服して「元就」となった後も、27歳までここで過ごしました。

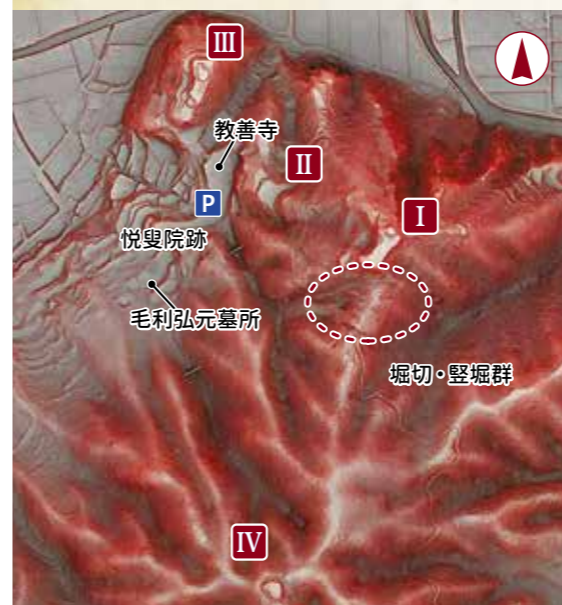
元就はなぜ多治比で育った?

元就が幼少期から青年期を過ごした地、多治比。郡山城にいた元就が、兄と離れ長年ここで不遇な生活を送ることになった、その背景を探ります。

猿掛城と悦叟院
多治比における毛利氏の拠点、猿掛城(近世以降の呼称)は、中腹のI本丸を中心に、II寺屋敷郭群、III出丸、山頂部のIV物見丸で構成され、Iの南背後には、写真の大堀切など多くの堀切・堅堀が残り、高い軍事性を備えていたことがわかります。
城の西麓には、弘元の菩提寺悦叟院跡があり、弘元と正室の墓所があります。IIの西側には、天文5(1536)年創建と伝わる教善寺があります。

多治比移転の理由

移転当時、毛利氏は大内氏と細川氏という大勢力の間にあり、当時33歳の弘元が双方の圧力から逃れるための形式的な家督移譲とされたと考えられ、実質的には引き続き弘元が当主であったと思われます。一方で、猿掛城の軍事性の高さは、毛利領西側の重要拠点であったことを示します。弘元は、将来元就が西から興元を支えるために、幼い元就を伴ったとも推測できます。



猿掛城跡赤色立体地図



猿掛城跡本丸背後にある巨大な堀切

安芸高田

歴史紀行

毛利元就没後450年記念

シリーズ「元就の謎を解く」第2回

多治比猿掛城

《国史跡 吉田町多治比》



安芸高田市教育委員会
文化財係主査
秋本 哲治

《国史跡 吉田町多治比》